

メキシコ共和国チャピngo自治大学第二回報告書

東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科4年 上野円

12月に入り、2018年も残り少なくなってきました。来年は2019年。私が日本に帰国する頃にはもう年号も変わっていると思うと、過ぎる時間の早さに驚かされません。

私の留学先であるチャピngo自治大学は、12月半ばをもって第一学期が終了しました。優しいクラスメートや他の留学生達の協力のおかげで何とか講義の単位を頂くことができました。成績を直接先生方に貰いに行き、評価を受け取る。それだけのことですが、“こんな自分が評価をもらっていいのか”とか“頑張ったけどテスト駄目だった”など、考えてしまいます。私がとった講義の先生方は優しい方ばかりで、冗談を混ぜながら、励ましの言葉を言ってくれました。拙いスペイン語で感謝を伝え少し話していると、“大分スペイン語が上達したね。頑張ってるね”など言ってくれました。本当に感謝の言葉が尽きません。

また、今月は他の国から来た留学生達も次々と学生寮を後にしました。

彼らとも、とても大切な経験の数々を共有できました。同じ家に住んでいた4人のアルゼンチン人の学生達にはカルチャーギャップなどを感じることもありましたが、基本的に気の良い学生達で、仲良くできたと思います。一つ彼らとの心残りがあるのが、個人的な理由で私がいあまりお酒を飲むことができなかつたことです。彼らはお酒が大好きで、よく盛り上がっていたので、自分もお酒に強ければ、もっと彼らとも仲良くできたのではないかと思う事があります。

そして、誰より私と話してくれたのは、偶然に同じ授業が同じになった、こちらもアルゼンチン人の学生でした。彼はとてもコミュニケーション能力に優れていて国には娘さんといらっしゃる、例えると、とても大人な学生でした。凄く丁寧に授業の内容を私に教えてくれ、更に課題まで手伝ってくれました。彼のおかげでめげずにテストにも集中して勉強ができたのだと確信しています。最後別れるときに、“いつでもアルゼンチンにおいで”と、言ってくれました。本当に良い出会いでした。

約半年間が過ぎました。何処でも、何時でも、多くの方に支えてくださったおかげで今もここにいます。残り、僅か半年。この長いとも少なくとも取れる期間の間に自分が何をするか。この冬季休み中にゆっくりとしかし、しっかりと考えていきます。

最後に、今学期メキシコにいた証として、成績の写真を載せたいと思います。